



### 南京空爆散華の靈

#### 湯本町と渡邊村の三勇士 盛大なる町葬と村葬

南京の空爆に從軍して散華したる石城郡湯本町青葉下海軍二等航空兵曹並に戸田堅太郎兩君の葬儀は来る五日午後二時同町小學校舊校々庭に於て盛大なる町葬を執行される客であるが同郡渡邊村出身海軍航空兵曹長大友保君も同じく名譽の戦死をなした此の遺骨到着したので来る四日午後一時同村小學校庭で盛大なる村葬を営まれると

### 寄附

#### 軍事後援會へ 高久病院長と 金古きみさん

平市市町町高久忠氏は金十圓を、同町金古きみさんは金五圓を何れも今廿一日平市軍事後援會へ寄附された

### 市となつた平窪

#### 舊平窪の特戸税額 前年の賦課より約五百圓減か 所得査定は大体決まる

平市が市制施行初年度の特別戸數制に關する市會を来る七日頃招集の豫定で査定算出を急ぎつゝあるは既報の如く九萬八千二百二圓を算出したる同稅總額に對して一四三戸の戶數の増加が一戸平均十八圓十五錢二厘と見たるものを十七圓六十八錢に輕減される模様であつて大衆課税の上から且つまた市の膨張による負擔減を喜ばれるとであるが市

日刊報シロ日五五五  
日刊報シロ日五五五  
日刊報シロ日五五五  
日刊報シロ日五五五  
日刊報シロ日五五五  
日刊報シロ日五五五  
日刊報シロ日五五五  
日刊報シロ日五五五  
日刊報シロ日五五五  
日刊報シロ日五五五

### 常識講座

カステネットは西洋樂器の一つで極めて簡單なる樂器で、堅木の二片を重ねて打ち振るものまたは日本でも古くからある四ツ竹の如き類のもので音がカチ合ふとカタ／＼音がする

### 軍馬に獻納を申出

#### 時價二百五十圓の牝馬一頭 入遠野村の折笠繁信氏

日支事變に對する戦後人の赤誠は國防獻金に皇軍の慰問費に各地から溢る／＼ばかりの寄附であるが石城郡入遠野村の折笠繁信氏は後に入遠野字入城折笠繁信氏は後有する青毛の牝馬一頭時價三百五十圓を軍馬の需要に寄附したいと昨三十日郡馬組合關係者に申出たのでその手續きを取ることにしたが馬匹の獻納は縣下に於ても嚙矢のものであらうと

### 小使錢を貯めて

#### 國防費へ 平市市町町左記の幼童等が小使錢を貯めた金三圓五十錢を今三十一日國防費に獻金方を市役所に寄託した

### 平市の軍事義會

#### 軍事後援會と改稱 五千圓の資金を一萬圓に

平市では昨三十日軍事義會の改稱することに決し最初五創立總會を市會議事堂に開き千圓の資金を見込んだがこれ資金の造成その他につき打合せをなしたのが會の名稱軍事義會として直感的でないといふ意見があつたので軍事後援會と改稱し、各婦人團

### 明日の俵米共販

#### 出荷は一千二百二十一俵 相場は保ち合を豫想

石城販賣聯合會に於ける明日の俵米共同販賣は出荷左記の如く一千二百二十一俵であるが取引豫想は目下の相場が大體底値と見られてゐるため定期に幾分の上向きを呈してゐるものと正米は前回の保ち合ひと一般に見られてゐる

### 皇軍慰問寄附

平本土監督所員一同は銀金七圓七十二錢を皇軍慰問費に寄附した、又石城郡内村の島坂本義典、志賀五郎の兩君は各一圓、好間村廣畑の長谷川けい子さんは金一圓十三錢を皇軍の慰問金として何れも今三十一日平署に寄託した

### 知事と總務部長

#### 初巡視日程 君島知事と總務部長長崎市長平氏の石城郡初巡視は昨報したが日程は大體左記の如くである

### 小名濱町の國防後援會

小名濱町では昨三十日午前九時急應町會を開き戦後の小名濱國防後援會の結成を決議し同十時町内各種團體及び各區代表者等をして發會式を舉行會長に小野晋平、副會長に高木保、志賀平その他役員を推選した

### 平市の條例規則

(一) 有給吏員給料及旅費支給條例  
第一章 給料  
第一條、市長、助役、収入役ノ給料ハ年俸トシ、甲號表ニ依リ其支給額ハ毎年度豫算ヲ以テ之ヲ定ム  
第二條、主事、技師ノ給料ハ年俸トシ、其他ノ有給吏員及雇員ノ給料ハ月俸トシ、乙號表給料ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ市長之ヲ定ム  
特別勤務ノタメ月手當ヲ受給ス

### 小麥栽培の實地指導地

#### 石城に四ヶ所 指導地は植田、勿來、大浦、澤渡の四ヶ地を指定され同指導地は一ヶ所の耕作面積一町歩以上を充てる等、肥培管理を實行組合に任せられることになつてゐるが石城駐在吉成技手は左記日程でこれが指導につき申合せ中である

### 炭礦雜夫の盗み

#### 石城郡内村の宮字浦警城炭礦雜夫吉田竹藏(四七)は去る七月以來同礦倉庫から數回に亘つてワイヤロープ三百圓分を窃取し村内綴の古物商小椋熊吉に賣却してゐたこと發覺して平署に檢査された

### 籠球選手

石城郡下小學兒童の籠球大會が差迫る平第一校では今三十一日出場選手を左記の如く決定した

### 平第一校の籠球選手

▲尋常科相澤文雄、小村薫、加藤慶祐、佐藤信男、清田泰、佐藤政尚、坂井一雄、藤井喜一郎、高橋恒壽、門馬照次、豊口秀哉、吉成方義、阿部榮一、蛭田清二、▲高等科渡邊利長、船水義英、久柄康道、矢代弘淑、吉成三郎、今田誠司、國府田善之、高橋滋、菅野卯之吉、木下勝三、齋藤茂文、齋藤清次(以上)

### 石城郡土地賃賃價格調査委員會

平市外石城郡下各町村の土地賃賃價格調査委員會は明一日午前九時から平市會議事堂に開會した

### 炭礦雜夫の盗み

石城郡内村の宮字浦警城炭礦雜夫吉田竹藏(四七)は去る七月以來同礦倉庫から數回に亘つてワイヤロープ三百圓分を窃取し村内綴の古物商小椋熊吉に賣却してゐたこと發覺して平署に檢査された

於て開催されるが同委員長は佐藤庄太郎(神谷村)氏であると

# 畜業

## 緬羊の一年 一回繁殖

宮城縣下で成功  
東北一の綿羊王國を誇る宮城縣登米郡で普通年一回の繁殖となつてゐる緬羊の一回繁殖に成功、センセイジョンを起してゐる、同郡米谷町字仲町能掛川孫治(男)氏は緬羊の一回繁殖を試み本年一月十五日出産の緬羊に二月初旬更に一回繁殖を試みたところ見事成功して六月十日第二回の出産をなし母仔とも成育健康で年一回出産と何等異なる所なく八月更に繁殖をはかり明春一月出産させ今年同様の繁殖を見込んでゐるが緬羊の年一回繁殖はこれまで殆んど試みられて居らず此の成功は關係者間に異常センセイジョンを巻き起した右に關し同郡の綿羊指導のため駐在の縣農林技手藤井成夫氏は語る、  
緬羊の胎生期間は五ヶ月なので飼養管理さへよければ一回繁殖も可能なことを立證した、當業者には大變よゝ刺激劑で才龜掛川氏の一回繁殖母仔羊の成育健康状態は特に注意してゐるが一回繁殖のものとは何等變つてゐない、  
更に農林省畜産課に於ても増産計畫の新指針であると左の如く語つてゐる、  
緬羊はわが國としては比較的歴史が新しく其の繁殖方法についても研究中のものが多し年に二産を實行すると云ふ事は經濟的に非常な利益となるので先般國立種羊場で研究したが其の隙は二産は可能であつたけれ

ども母羊健康・遺傳の點があつたので其儘になつてゐる但し飼養管理の方法によつては獎勵し得る方法が發見され得ると思ふから此の點は今後の研究にまつほかはあるまいなほ二ヶ年に三産ぐらゐが適當ではないかとの説もあり何れにしても緬羊繁殖の急を説かれてゐる折柄注目すべき問題である、(完)

# 藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

## 牛も豚も優良品の自慢

平市 田町  
三三三屋  
肉の御 用命は

料理 井 出  
水久喜 町南市平  
番八二七話電

病室増築、手術室完備  
産科 醫學博士  
婦人科 五十嵐雄二  
平市新川町「電話三六九番」

新製品發賣... 獨特の新意匠全透明軸  
パイロット高級万年筆  
平・四・マルトモ・電二三四  
¥2.00以上 景品付發賣中

内科、小兒科  
大森醫院  
醫學士 大森勇  
平市南町 電話二五八番

レストラン サロシ  
多田井質店  
平市大工町 電話五九二番

平病院 (平市元共濟病院跡)  
院長 醫學博士 鈴木定藏  
内科 院長 醫學博士 鈴木定藏  
小兒科 部長 醫學博士 池谷宗二郎  
皮膚泌尿器科 部長 醫學博士 鈴木定藏  
レントゲン科 部長 醫師 岡田重德  
物理療法科 技師 岡田重德  
藥劑科 部長 藥劑師 吉本幸平  
診療時間 毎日午前八時より午後九時止  
夜間診療に従事す(急患は此時間限にあらす)  
往診隨時、病室完備 (自炊の便あり)

外科一般 内臓外科  
レントゲン科 泌尿器科  
北川外科  
平市新川町二七(電四六四)  
醫學博士 北川芳夫  
技師 小林良次

優良品 質高 價廉  
山商店 債券部  
電話一七二番

久 山商店  
債券部  
平市仲間町  
電話一七二番

大見切  
奉仕品  
是非御來店を  
御待ちして居ります  
ツルヤ 平 電一四〇